

令和2年5月

乳白粒防止のため早めに中干しを開始しましょう！

稲の活着は概ね良好で、分けつの発生は平年並みです。過剰分けつ防止のため「中干し」は遅れずに実施しましょう。

◆天候と生育に合った水管理の徹底

- 1 稲の活着後または除草剤処理7日後には浅水管理（水深2～3cm）に移行してください。
- 2 温暖な日を選んで、1～2日落水し、田干しを行ってください。特にガスの発生が見られる圃場では田干しを繰り返してください。
- 3 田干しや除草剤使用時期以外は浅水とし、入水する場合は夕方か早朝に行ってください。
- 4 低温及び強風時は深水管理してください。
- 5 稲の生育に合わせて中干しを実施してください。

◆中干しの目安

1 開始時期

田植え1ヶ月後
（6月初旬から）

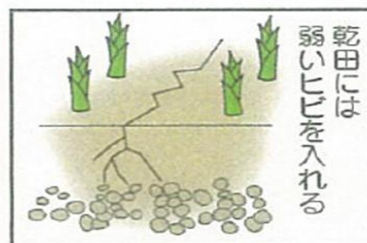
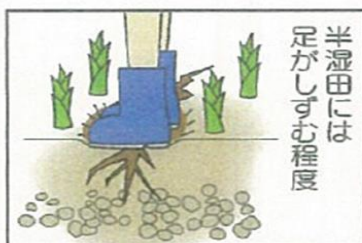
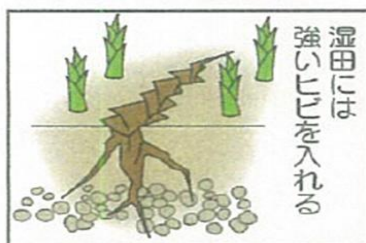
※ゆめみづほは5月末より開始する。

2 1株当たり茎数

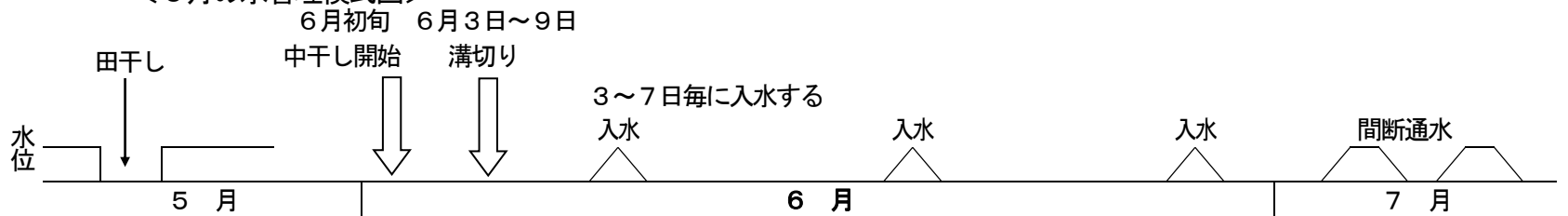
15～17本（ゆめみづほ）

13～15本（コシヒカリ）

3 乾湿田別の程度

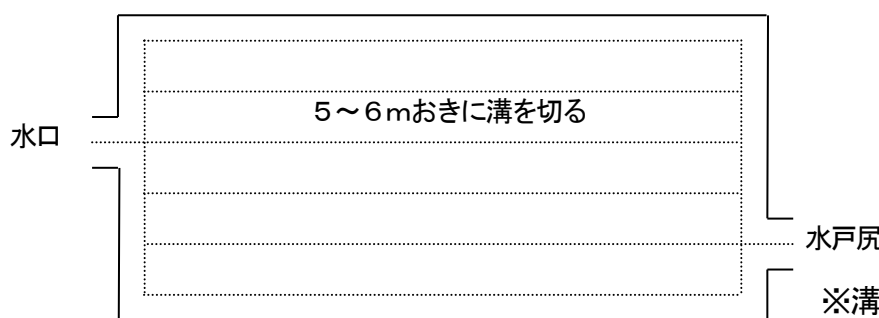


<6月の水管理模式図>



4 溝切りで中干し効果が向上・間断通水が容易

【溝切りの方法】



大麦作付け予定圃場は
必ず溝切りを行きましょう！

6月3日～9日は一斉溝切りウィーク！

中
干
し
は
遅
れ
ず
に
開
始
し
ま
し
よ
う
！

生
産
履
歴
を
的
確
に
記
帳
し
ま
し
よ
う
。

◆ 残った草の除草対策 ～ 農薬使用後は7日間止め水管理を徹底しましょう ～

1. ノビエ

薬剤名	ノビエの葉齢	使用時期	10a 当たり使用量	注 意 事 項
クリンチャー 1キロ粒剤	4葉期まで	移植後7日～ノビエ4葉期 但し収穫30日前まで	1kg	湛水状態（水深3～5cm）を 7日間保つ。
	5葉期まで	移植後25日～ノビエ5葉期 但し収穫30日前まで	1.5kg	
クリンチャー EW（液剤）	6葉期まで	移植後20日～ノビエ6葉期 但し収穫30日前まで	100ml 水 25～100 ^{リットル}	展着剤を加用し、落水状態で散布する。
クリンチャー バスME液剤	5葉期まで 及び広葉雑草	移植後15日～ノビエ5葉期 但し収穫50日前まで	1,000ml 水 70～100 ^{リットル}	晴天時に完全落水して均一に 散布する。3日間水を入れない。
レプラス 1キロ粒剤	4葉期まで 及び広葉雑草	移植後14日～ノビエ4葉期 但し収穫60日前まで	1kg	湛水状態（水深3～5cm）を 7日間保つ。
ワイドショット 1キロ粒剤	4葉期まで 及び広葉雑草	移植後15日～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで	1kg	湛水状態（水深3～5cm）を 7日間保つ

※クリンチャーEW、クリンチャーバスMEは水で希釈して雑草の茎葉に散布する薬剤です。

2. その他広葉雑草

薬 剤 名	使用時期	10a 当たり使用量	注 意 事 項
バサグラン粒剤	移植後15～55日 但し収穫60日前まで	3～4kg	落水後散布 3日間水を入れない。
バサグラン液剤	移植後15～55日 但し収穫50日前まで	500～700ml 水 70～100 ^{リットル}	

※草種によっては、期間内で早めに使用する必要があります。

◆ 箱施薬していない場合や直播圃場では葉いもち予防を行いましょう。

対象病害虫	使用時期	薬剤名	10a 当たり使用量	備 考
葉いもち	6月10日～15日	オリゼメート1キロ粒剤	1kg	湛水状態（水深3～5cm）で散 布し、7日間止め水管理とする。

※補植苗の放置は葉いもちの発生源となります。早急に処分しましょう。

珪酸分の施用により稲体の健全化をはかろう。

肥 料 名	施用時期	10a 当たり施用量
珪酸加里プレミア	6月20日頃	40kg

R2年産 水稻栽培留意事項について

越冬害虫について

今冬は暖冬であり、根雪期間及び積雪深がほとんど無い状況でした。そのため、越冬害虫の多発が懸念されるため、下記の対策をしましょう。

(1) 予想される越冬害虫：クモヘリカメムシ、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ

(2) 防除

① カメムシの越冬成虫は5月下旬に畦畔等の雑草地で産卵するため、農道や畦畔の雑草の除草を行い、産卵場所をなくす。

② 品種によらず、害虫が常発している圃場や基幹防除後にも害虫が多発している場合は2回目の基幹防除の7日後にも殺虫剤を施用する。

・ツマグロヨコバイやニカメイチュウ、カメムシ類に登録のある成分を含むこと。

例) トレボン粉剤DL

③ 苗箱処理または田植時に予防粒剤を施用していない場合、6月中旬にニカメイチュウの登録がある剤を施用する。

詳しいことは営農指導員にお尋ね下さい

補植用の苗は早急に処分しまし
よう。